

入札参加事業者 各位

入札にかかる質問書について（回答）

財務会計システム更新等業務委託の一般競争入札（総合評価落札方式・入札後資格確認型）に係る質問書に対する回答については、次のとおりです。

質疑 番号	業務名又は項目	質問事項	回答
1	仕様書P.2 2 導入システム 既設のサーバラックに設置し、設置に必要な部品の調達、設置に関する電源管理、バックアップ設定等のセットアップ作業を含む。	バックアップ設定方法に指定はありますか。	バックアップの設定方法に指定はありません。 ご提案いただく財務会計システムに最適なバックアップの方法をご提案ください。
2	仕様書P.4 3 業務内容 庁内ネットワーク保守業者等の関係者を含めた調整・テスト・検証を実施するとともに必要に応じて立ち会うこと。	庁内ネットワーク保守業者との打ち合わせ・調整・テスト費用については、庁内ネットワーク保守業者等から、見積を取得し、入札金額に含めるとの認識で問題ないでしょうか。	庁内ネットワーク保守業者と調整の上、各費用について必要であれば、入札金額に含めてください。
3	仕様書P.5 5 データ移行等 (2) データ移行の範囲	データ移行範囲に予算要求（算出基礎）データがありませんが、前年度分の予算要求データを移行する必要はありますか。	不要です。
4	仕様書P.5 5 データ移行等 (2) データ移行の範囲 ・固定資産データ	固定資産データについては、アセットマネジメントのことを考え、過去明細（追加・除却）も含めて移行を行う必要があるとの認識で問題ないでしょうか。	お見込みのとおりです。

財務会計システム更新等業務委託の一般競争入札（総合評価落札方式・入札後資格確認型）に係る質問書に対する回答については、次のとおりです。

質疑番号	業務名又は項目	質問事項	回答
5	仕様書P. 5 5 データ移行の範囲 (3) 今回の入札結果により、現行システムのベンダーと落札者が異なることとなった場合は、現行システムのベンダーと協力して、データ移行作業を行うこと。	データ移行について、箕面市から紙やデータの提供はなく、現行システムの業者から見積を取得し、データを受領するという認識で問題ないでしょうか。 また、データ提供内容について、仕様書P. 7にある3回のデータエクスポート・説明資料、Q&A対応をしていただけるとの認識で問題ないでしょうか。	お見込みのとおり、箕面市から紙やデータの提供は行いません。現行システムの業者から、データを受領し、移行を行ってください。 仕様書P. 7 Ⅲデータ移行業務は、5年後に予定しているシステムの再更新時に、今回の入札の落札者に依頼する業務ですので、今回の入札にあたり、現行システムの業者が行う業務ではありません。
6	仕様書P. 6 3 ソフトウェア保守 (2) ソフトウェア障害に対する保守は、当日又は翌日訪問対応とする。ただし、職員の操作により対応可能な軽微な障害については、電話応対等での対応でも可能とする。	庁内端末約100台に公営企業会計システムがインストールされることになります。今後5年間の公営企業会計システムのネットワークにおける障害の切り分け（公営企業会計システムが起動しないなどの原因の切り分け作業等）について、庁内ネットワーク保守業者から見積を取得し、入札金額に含める必要がありますでしょうか。	庁内ネットワーク保守業者と調整の上、費用について必要であれば、入札金額に含めてください。
7	(別紙1) 機能確認書 共通要求事項 共通事項 1 台のクライアントで同時に複数の業務が起動できること	複数の業務が起動できることは下記の機能が必要であるとの認識で問題ないでしょうか。 ・ログアウトすることなく、会計システムや予算編成システム、固定資産システムを同時に起動することができる。 ・伝票入力を行いながら、元帳や予算帳票など同時に起動して確認することができる（画面を閉じることなく複数の作業を行うことができる。）。	お見込みのとおりです。
8	(別紙1) 機能確認書 共通要求事項 掲示板機能 システムのメニュー画面に掲示板機能を設けること	掲示板機能に下記の機能は必要でしょうか。 ・権限のある人が掲示板に掲示し、使用者に向け発信することができる。 ・掲示内容について、掲示板に掲示する期限を設けることができる。	どちらの機能も必要です。

財務会計システム更新等業務委託の一般競争入札（総合評価落札方式・入札後資格確認型）に係る質問書に対する回答については、次のとおりです。

質疑番号	業務名又は項目	質問事項	回答
9	（別紙1）機能確認書 会計基本 共通事項 予算科目、勘定科目は、款・項・目・節・細節とし、年度別に管理でき、期中に変更しても運用上支障がでないように工夫されていること。また、変更を行っても前年度比較できること	「変更を行っても前年度比較できること」とは下記機能が必要であるとの認識で問題ないでしょうか。 （元の科目体系） 001 ○○、002 ×× （001○○と002××の間に002△△を追加し、002××は003××と表記変更） 001 ○○、002 △△、003 ×× 002××と003××を紐づけし、比較できるようにする。	お見込みのとおりです。
10	（別紙1）機能確認書 会計基本 共通事項 予算科目の入力時に、勘定科目が確認できること	予算科目を入力したときに、消費税の仕訳も含めて画面上に勘定科目の仕訳が表示され、仕訳が間違いないか確認できればよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
11	（別紙1）機能確認書 会計基本 支出命令書 直払、未払の選択ができること	直払、未払は伝票の起票ごとに選択するとの認識で問題ないでしょうか。	お見込みのとおりです。
12	（別紙2）帳票目録 会計伝票・会計帳票について 【要求水準】「○」同等の機能、項目があれば形式にはこだわらない。	要求水準が「○」のものについて、「同等の機能、項目があれば形式にはこだわらない」とありますが、提案システムの伝票は、決裁日や起案者など、必要以上の項目が印字されています。項目が充足していれば問題ありませんでしょうか。 または、 unnecessary項目についてはレイアウト修正し、項目を削除する必要がありますでしょうか。	必要な項目が充足されていれば問題ありませんが、実際のレイアウトを確認し、削除をお願いする場合があります。
13	（別紙2）帳票目録 会計伝票・会計帳票について 帳票名：公金出納報告書	公金出納報告書について下記2点、確認をさせていただきます。 ① 普通預金の出金額の印字は不要と考えてよろしいでしょうか？ ② 所有有価証券欄はどのような金額を印字するのでしょうか？	記載に錯誤があり、申し訳ありません。 公金出納報告書は、現行システムから印刷したものではありません。 （別紙2）帳票目録ページ36「公金出納報告書」は不要ですので削除します。

財務会計システム更新等業務委託の一般競争入札（総合評価落札方式・入札後資格確認型）に係る質問書に対する回答については、次のとおりです。

質疑番号	業務名又は項目	質問事項	回答
14	〔様式2〕 受託業務経費内訳書	業務（１）財務会計システム更新業務委託の「④データ移行に係る調整費用」について、今回のデータ移行に係る既存業者からのデータ出力経費は見積額に含めなくてよいとの認識で問題ないでしょうか。	仕様書P.5 5 データ移行等（４）落札者は、移行データを新システムに取り込む費用を負担すること。（現行システムのベンダーが移行データを抽出作成する費用を含む。）としています。 〔様式2〕 受託業務経費内訳書 （１）財務会計システム更新業務委託の「④データ移行に係る調整費用」に必要経費も含めて計上してください。
15	〔様式11〕 事業者の同種・類似業務の実績	実績について、自社製品以外を取り扱う場合、ソフトウェアの開発元の受託実績を記載しても問題ないでしょうか。	様式11は、入札をする事業者の同種・類似業務の受託実績を評価するためのものであり、ソフトウェア開発元の受託実績を問うものではありません。 自社製品以外の導入実績を記載する場合は、業務内容の欄に開発元の製品名を記載してください。
16	〔様式19〕 機能確認書対応調査表 会計基本項目のうち決算処理機能について	消費税の納税申告において、e-Taxが義務化されておりますが、連携機能は必須でしょうか。	必須ではありません。
17	〔様式19〕 機能確認書対応調査表 会計基本項目のうちマスタ管理について	予算残額表示のレベルについて、科目レベルだけでよいでしょうか。所属単位での管理は不要でしょうか。	所属単位での管理も必要です。
18	〔様式19〕 機能確認書対応調査表 固定資産管理について	資産データの登録については、1資産ごとに画面登録する運用となりますでしょうか。（一括登録での運用もございますでしょうか。）	一括登録での運用は行っていない。 資産ごとに登録する運用です。